

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

2008年4月13日 家内の R2 を Refit Bitter selection に買い換えるための契約に浅野さんが自宅にいらした。



この男前が SUBARU でいつもお世話になっている、営業の浅野 靖さんです。



を軽々と 200 km/h の世界に連れて行ってくれた。ただしリアの安定感をもっとほしい！やはりウィングの装着は必要だと実感した。後は何としても家内を納得させないとあー。

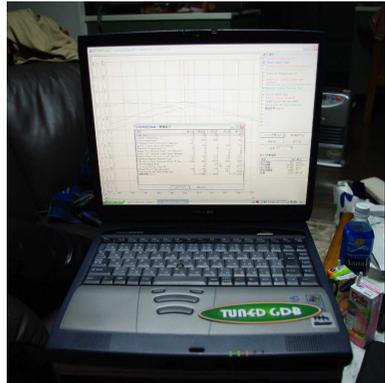


2008年4月19日 この日の夕刻、SUZUKA SPORTS GARDENにて、先週購入したデジタル一眼レフカメラ K200D で愛車を撮影。

2008年4月20日 そして本日は朝から快晴。家内の姪が、多気郡多気町相可台に一戸建てを購入したので、午後から訪問することにした。ちょうど昨晚、ペンペンさんのHPから ECU Logge view の最新バージョン 1.13 をインストールしたばかりだったので、その新機能走行燃費情報を得るために必要な、Engine Speed(rpm)/Vehicle Speed(kph)/Fuel Injector#1 Pulse Width(ms)の3つのデータをロギングする良い機会となった。また、今回は初めて高速連続走行のデータも収穫できるので、本当に楽しいドライブとなった。道中の伊勢自動車道は走行車両も少なく、短時間ではあったがオーバー 200 km/h も体感できた。それにしても、320 馬力 EJ20T は、私たち 2 名が乗車した愛車 RA-R



今回は家内を助手席に座らせるため、ロギング用PCはリアシートにセットした。



ECU Logge view - 数値表示

項目	最小値	現在値1	現在値2	変化量	最大値
冷却水温度 (°C)	73	78	85	0	79
エンジン回転数 (rpm)	717	5664	5652	12	7267
フィードバックノック補正* (degrees)	-211	0	0	0	0
点火タイミングアドバンス* (degrees)	0	844	0	844	11.6
吸入空気温度 (°C)	25	26	26	0	31
吸入 VVT アドバンス アングル 左 (degrees)	0	12	11	11	45
吸入 VVT アドバンス アングル 右 (degrees)	0	12	11	11	46
マニfold 相対圧 (補正) (bar)	-0.83	0.87	-0.71	1.58	1.311
マニfold 相対圧 (bar)	-0.8	0.9	-0.77	1.61	1.271
マニfold 相対圧 (直接)* (bar)	-0.848	0.848	-0.771	1.564	1.237
スロットル開度 (°)	0	198	201	3	201
スロットル開度 (°)	0	29.8	1.61	29.8	81.57
目標ブースト* (bar absolute)	1.545	2.048	1.611	0.437	2.272
燃料インジェクタ #1 パルス幅 (ms)	0	15.1	1	15.1	20.99
瞬間燃費 (g/m)	0	2194007	2194007	0	6733266

200 km/h オーバーの証明。201 km/h

走行/燃費情報

項目	値	単位
走行時間	891	[sec]
平均速度	123.756	[km/h]
走行距離	31.858	[km]
燃料消費量	4.882	[l]
燃費	6.526	[km/l]

この新しい ECU Logge view は、なんと走行中の瞬間燃費も計算してくれる優れものだ。因みにこの 15 分間の平均燃費は、リッター 6km 台である。

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R



2008年5月3日
 本日は、家内がや
 っとりヤ・ウィング
 の装着を許可してく
 れたので、記念にこ
 れらの画像を掲載し
 てみた。PROVAに
 メールでS耐マシン
 と全く同じドライカ
 ーボン製リヤウイン
 グ購入について質問
 をしたら、装着は御
 殿場の本社でしか行
 わないこと、本体価
 格は税込¥207,900
 工賃税込¥21,000で
 あること、納期は注
 文から3週間程度か
 かること等が判った



いよいよ私のRA-Rにも翼が生える



SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

憧れという
やつは厄介な
物で、思いは
日増しに強くな
って行く。
我が愛車の
RA-RにS耐
レーシングカ
ー、PROVA
FUJITSUBO
IMPREZAの
リヤウイング
を装着すると
決めた時から
早くその日が
来ることを夢
みる日々であ
る。その気持
ちが抑えられ
ず、せめて写
真でもとこの
S耐画像集を
作製した。



PROVA
ENGINEERING



今回は
PROVA
FUJITSUBO
IMPREZA
TEAMのピット
風景ばかり集
めてみた。
ドライバー
製のリヤウイ
ングがイエロー
の車体にバラ
ンスよくマッ
チしているのがよく
わかる画像だ。
それにしても
いままでも全
然気付かなか
ったのだが、
我が愛車の
アストラレイ
ローという色
は、実はこの
S耐カーのイ
メージから採
用したものな
のでは？

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R



これではいかにも私はS耐ファンになったようだが、あくまでも Rally ファンであることは今後も変わらない。ただこのPROVA FUJITSUBO IMPREZA のGDB は既に昨年いっばいでその任を終えている。この先二度とサーキットで見かけることはないので、私のアルバムに残した。



さらに付け加えるならば、これからもこのS耐 GDB の勇姿は、私の愛車の textbook で有り続けるだろう。



SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

残念だが、もう二度とこの勇姿を見ることはない！



遂にその役目を終えた PROVA FUJITSUBO IMPREZA

ガレージセール品
この車だけ
FUJITSUBO IMPREZA
適応車種
参考定価 ¥
¥8,000,000 送料は別付
+¥40,000,000

2008年5月10日 今日 PROVA ENGINEERING にメールで問い合わせた最終の返答がきた。内容は UV カットクリアー塗装は黄色っぽい仕上がりになること、値段が高くてあまり需要がないこと、普通のクリアー塗料にも現在では微量の UV カット成分が含有していること、また、ドライカーボンへのクリアー塗装は、目地を整えるための研磨と塗装を3度繰り返す、手間と時間のかかるものなので、費用が6~7万円ほどになること、しかし、ポリエステル系樹脂でできたカーボン製品とちがい、本製品はドライカーボンでエポキシ樹脂なので白化し難いということが分かった。これでクリアー塗装は必要ないと判断し、オリジナルのまま注文することにした。もしどうしても紫外線が心配ならば、AST の ONE LAP COAT 1 で処理すれば問題は解決するだろう。いよいよ注文だ！



お疲れさま!

もう少しでこの美しいフォルムのリヤウイングが我が愛車 RA-R に装着される時がやってくる！

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

先日製作したノートPC専用台を、
リアシートに設置してみたが、
この通りバッチリだ！

2008年3月3日

このところあまりいいこともなかったので、
暇に任せて自分の名刺をつくったり、SUBARU
純正のエンジン添加剤PEA（なんと三重スバル
は扱っていない）を、ガソリン満タン時にいれて
みたりと、パツとしたニュースもないが、明日
は待ちに待ったドライカーボンリアウイングを
家内といっしょに



御殿場のPRO
VA ENGIN
EERING
まで装
着し
に行
く日
だ。



いよいよ愛車に羽がつく、楽しみだ！

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA=R

Prova

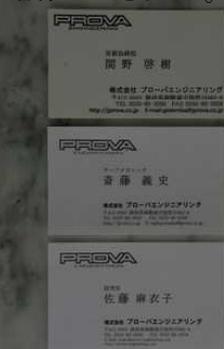
eifel
PROVA
ENGINEERING



2008年8月9日 遂にやってきた。SUBARUファンにとってはまさに聖地といってもよい、PROVAのファクトリーだ。自宅から伊勢湾岸自動車道、東名高速道路と乗り継いで、途中東名蒲郡付近で渋滞に遭い、御殿場ICからは401号線から138号線(裏箱根街道)の渋滞で、3時間半掛かった。御殿場に着いたら激しい雷雨で、パーツの装着の最中にも3度停電にみまわれたが、作業には全然影響はなかった。取り付け作業を行ってくれた常務の関野啓樹さん、ありがとうございました。また、少々退屈ぎみの家内の話し相手になっていただいた、チーフメカの斉藤義史さん、經理の佐藤麻衣子さん、いろいろとお世話になりました。本当に清潔できれいなオフィスとクリーンな工場で、とても気持ちのよい時間を過ごさせていただきました。



名刺いただきました。



Professional of SUBARU
and vehicle dynamics.
Over 25years experience
show the realities,
dynamics research
and high performance.

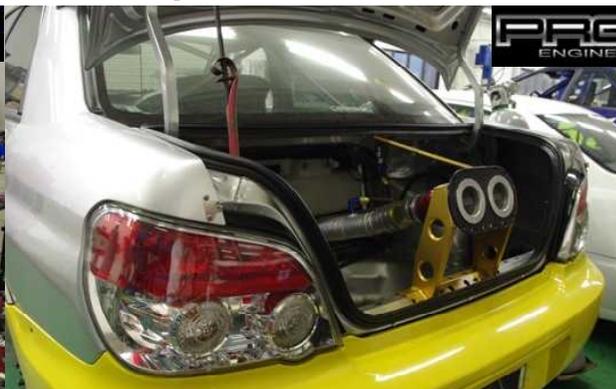


スタッフのみなさんです。一番右側の方が、常務取締役の関野啓樹さんです。

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R



これがあのPROVA FUJITSUBOS 耐レーシングカーだ。
このリアウイングと全く同じものが私のRA-Rに付くのだ。



確かにリアバンパーはあの色に塗られている。



背後の棚の上に、あのよく見慣れたフロントバンパースポイラーが置いてあった。



2008年8月9日 さっそく工房の中に案内された。一番奥に置いてある1台のシルバーのGDBに目がとまった。関野さんに聞くと、なんとこれがあのPROVA FUJITSUBOカラーのS耐レーシングカーなのだ。あの個性的なカラーリングは前後のバンパースポイラーを除けば、すべてカッティングシートの貼り込みだったそうだ。また後で気づいたことだが、この車体のトランクはカーボン製ではなく、SPEC純正のアルミトランクフードなのだ。ということはつまり私のRA-Rと同じもので、リアウイングの装着方法も全く同様だということだ。しかし、S耐カーのあの薄いリアウイングのステーが、いったいどんな方法でトランクフードに装着されているか、しかも耐久レースに出場可能な耐久性と、剛性をどうやって確保しているのかとても興味があったのだが、それもこの直後に判明することとなった。関野さんはさっそく作業に取り掛かった。下の画像を見るといかにウイングのステーが薄い(4mm)かよく解る。



これが私の愛車に装着されるウイングだ。



取り付け位置をしっかりと確認している。



なんと薄いステーだろうか。アルミ合金製である。



大切な部分なので、慎重に扱っている様子。

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA=R

2008年3月9日 度々の停電にも関わらず、粛々と作業は進められていった。無遠慮なカメラ撮影に「緊張します」と仰いながらも、その手は確実に作業を進めていった。相当繊細で集中力の必要な仕事にもかかわらず、その手の動きには少しの迷いもなかった。流石にプロの仕事だと思った。厚さ4mmのステーをトランクフードの裏側から止めるビスはミリサイズのものでは合うのが無いので、インサイズのビスを使用しているということだった。またそのビスの頭の六角レンチもインチサイズで、3mmでは少し遊んでしまうので注意が必要だ。



この取り付け面の微妙なカーブ



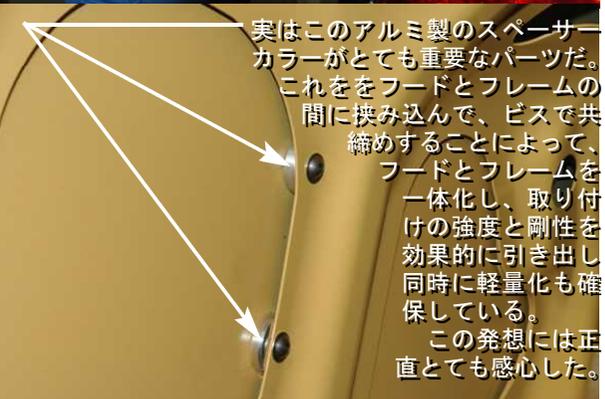
ポンチで正確な穴あけの位置決めをしている。



落雷を心配しながら作業は進められた。



いよいよウイングのビス止めだ。



実はこのアルミ製のスペーサーカラーがとても重要なパーツだ。これををフードとフレームの間に挟み込んで、ビスで締めるとフレームを一体化し、取り付けの強度と剛性を効果的に引き出し同時に軽量化も確保している。この発想には正直とても感心した。

ステーとフードの隙間を確認しながら、最高のフィット感を出していく。



どうやら作業が完了したようだ。



締めすぎに注意しながら、慎重に締め込んでいく



2003年3月9日 遂にドライカーボンS耐仕様リアウイングの装着完了
 どうやって装着するのかという疑問も全て理解できた。流石にスーパー耐久レ
 ースに参戦していたレースカーのパーツは違う。実際にウイング部分を手で持っ
 て揺すってみてもびくともしない。これはまさに本物のパーツだ。軽量化もハン
 パではない。トランクを開けてみると、びっくりするほどウイングの重さを感じ
 ない。関野さんが「是非真後ろから撮影してください」と仰ったので、撮ったの
 が右上の画像だ。まるでステーが無く、ウイングだけが宙に浮いているように見
 える。これが職人のこだわりというものだろう。本当にいいものを取り付けたと
 思っている。それから、下の2枚の画像だが、これはスーパー耐久シリーズ エ
 アロパーツ認定委員会から出ている指定部品専用のシールだそうで、「是非これ
 を貼っておいてください」と社長さんから頂いた。一旦剥がしてしまうと2度と
 再使用出来ないようになっているようだ。これは絶対に貼っておかなければ…。





二〇〇八年八月九日 フロイバエンジニアリングを訪れたこの日、まさかこんなものに出会えるとは夢にも思わなかった。
二台とも世界ラリー選手権で、コリン・マクレー選手がステアリングを握った車である。特に左のレガシイは本当に思い出深い。

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

2008年8月10日

鈴鹿に帰って翌日、早速家の近くのオリエンタル工機へ出かけて、PBの1/8インチサイズの六角棒レンチを購入した。

オリエンタル工機

PB SWISS TOOLS

これさえあれば、リアウイングの着脱は容易に出来るはずだ。

Prova

ドライカーボン製のS耐レーシングカー指定部品の証明になるこのシールも、翌日さっそく貼りつけた。

指定部品

Super Taikyu

スーパー耐久シリーズエプロン製造販売

お土産のステッカー

eifel
FROM CONCEPT OF NIMBLENESS

Prova

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

2008年9月7日



久々に快晴の下、選りすぐりの
会心のショットばかりだ。
この見事なフォルムを
とくと御覧あれ！



SUZUKA SPORTS GARDEN

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

2008年9月7日



サイドビューは、背景に溶け込むよみ!アウイングが、
さげなくの存在を主張して、何ともいえない雰囲気をもつ。



SUZUKA SPORTS GARDEN

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

2008年9月7日



SUZUKA SPORTS GARDEN